



おだ学園保育園通信

節分【せつぶん】



日本には、各地域で節分という行事があります。いわしとシナヒイラギ
季節を春・夏・秋・冬と区切ったとき寒い冬から暖かくなる春の区切りはとても大切な時期と捉えられたようです。そこで一年の始まりを春として元気で健康に迎える為には一年の最後の日に鬼を退治して新しい年を迎えましょうという、昔のおまじないのようなものが今も残っているようです。病気はすべて鬼の仕業と考えていた昔の人たちは悪いことをする鬼が来ないようにと願って豆をまいたり、いわしを焼いて臭い煙でいぶしたり、柊のトゲのある葉を玄関に備える、恵方巻を食べるなど地域によって様々な行事として传承されていますね。

園の子ども達にとっても無病息災を願うこの传承は、とてもワクワクドキドキと楽しい活動でもあったので各クラスの取り組みを紹介します。

●もり組（3歳児クラス）恵方巻（今年は担任が調べて東北東を探して…黙食…）



●ぱんだ組（2歳児クラス）鬼退治



●本日の給食（鬼に金棒!!）



●うさぎ組（1歳児クラス）食と遊びで楽しみました



●彼方にいる鬼、発見そら・ほし組（4,5歳児） ダイナミックな鬼退治！福の神登場！

